

写真 4 - 1 2      2階へ昇ると、そこは家の裏手で共有回路となっており、どの家にも接近が可能となっている。



写真 4 - 1 3      誰でも駐車可能な駐車場・家の裏手の弱点を強めている。



●監視性

4角に建物が配置されているだけに相互また広場への監視性は高い。

しかし、それ以外の空間、特に不審者が容易に接近できる駐車場、建物裏手に対する監視性（見守り）は極めて低い。

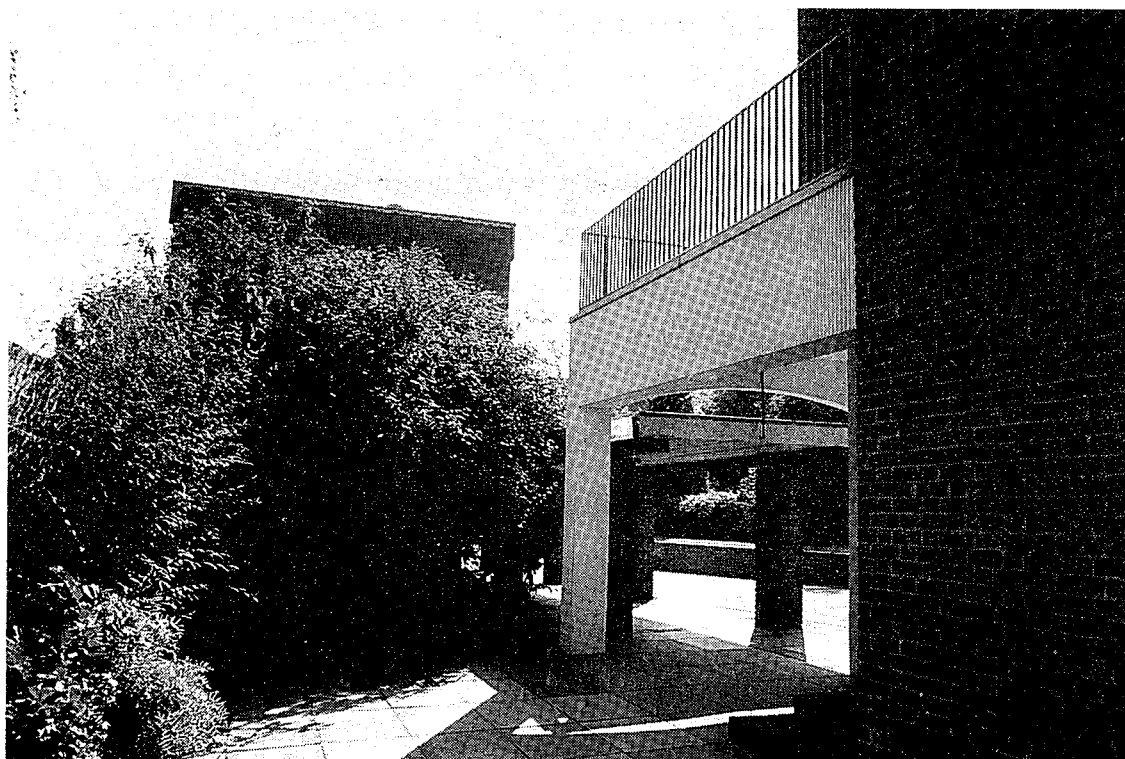
また、広場及び通路の横手に植えられた植栽の管理が悪く繁茂しすぎて視線を遮断する結果を生じている（写真4-14。4-15。図4-10の地点番号①）。

広場を4角に建物を配置しても、こうした管理の状態によって、その意味は全く失われてしまう。

写真4-14

広場周囲で繁茂する植栽





実際、この円形広場を囲む建物で、過去2年間に3件の侵入犯罪が生じている。

また、この建物の1角にあるスーパーでは、最近、商店用の小型監視テレビを設置した。

### 3. 環境設計的街作りの重要性

Hemel Hemsteadの成功例とOld Hatfieldの失敗例を見たとき、環境設計的視点からの街作りの重要性が改めて強調できる。

Old Hatfieldの街作りのデザインがスタートした時、設計者に未だ十分な環境設計的発想が行き渡っていなかった不幸がある。イギリスでは、建築担当官との打ち合わせが日常化したし、何よりも建築家に「犯罪からの安全性の確保」を設計段階でいかに取入れるかが必須の項目となったことが大きい (Jhon Onslaught.14.02.2000)。